

平成 28 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

研究用試薬「27800：YDK010/pPK4-HCP Assay Kit - IBL」 の製造販売に関するお知らせ

当社は、サンドイッチ ELISA 法を用いた「YDK010/pPK4-HCP Assay Kit - IBL」（「本製品」という）の製造販売に関して、開発元の味の素株式会社（「味の素」という）と試料譲渡契約を交わし、研究用試薬としての製造販売を開始しますので、お知らせいたします。

記

1. 製品の概要

当社は、味の素が開発したCORYNEX®システムにおける試料提供を受けて、宿主である *Corynebacterium glutamicum* 由来のHCP (Host Cell protein) を検出する本製品を世界で初めて開発いたしました。本製品は、CORYNEX®システムを用いた医薬品等の製造・精製工程において、目的のタンパク質以外に、宿主由来のタンパク質 (HCP) が混入していないことを検証するために有用、かつ必要になります。

製品名	YDK010/pPK4-HCP Assay Kit -IBL
使用目的	CORYNEX®システムにおける、培養液由来 HCP の測定
特徴	各製造工程における試料中のHCP量を簡便に測定することができるようになり、製薬企業等のCORYNEX由来創薬工程に広く使用することが可能となります。
発売予定日	平成 28 年 6 月下旬

* 本製品は研究用試薬であり、体外診断用医薬品ではありません。

2. 今後の見通し

当該製品の今期業績に与える影響は、現在精査しておりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【参考】

CORYNEX®システムは、味の素が開発したグラム陽性細菌「*Corynebacterium glutamicum*」を用いた新規のタンパク質・ペプチド分泌発現系で、これまで広く用いられている大腸菌による発現系に比べて、組換えタンパク質・ペプチドが直接培養液中に分泌発現されることから、菌体破碎やリフォールディング等の操作が必要無く、エンドトキシンも産生しないため、非常に高純度のタンパク質・ペプチド溶液を簡略化した精製工程で製造することを可能としました。

以上